

○日時 令和6年12月12日(木)  
14:00~14:30  
○場所 北九州市本庁舎4階 記者会見室

九州工業大学設立企業 株式会社キューテック アライズKyutech ARISEとの  
連携協定締結発表

次第

1. 出席者紹介

2. 北九州市 説明

(副市長 おおば ちかこ 大庭 千賀子)

3. 株式会社 Kyutech ARISE 説明

(代表取締役 みね しょうじろう 嶺 正二郎)

4. 質疑応答

5. 写真撮影

配布資料

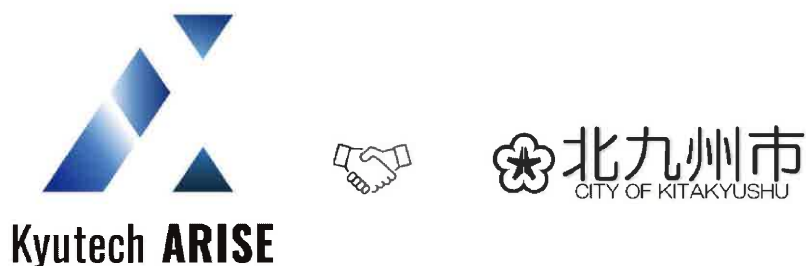
- ・ 次第
- ・ 北九州市説明資料
- ・ 株式会社 Kyutech ARISE 説明資料
- ・ 令和6年12月4日付 プレスリリース資料

【問合わせ】

総務市民局人事課

課長：柳井、係長：明石 電話：093-582-2203

# 株式会社Kyutech ARISE × 北九州市役所 ～ 連携協定の締結について ～



令和6年12月12日

主催：株式会社 Kyutech ARISE ・ 北九州市



## 土木職、建築職などの技術職員について

代表的な4つの区分 ～ 土木：約650人、建築：約160人、電気：約170人、機械：約140人 ～



土木職



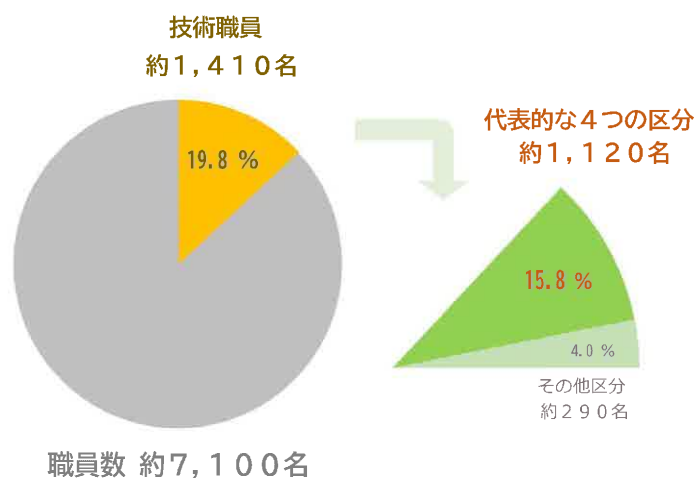
建築職



電気職



機械職



北九州市が目指す都市像の実現に向け日夜業務に励んでいる。具体的には…

## 01 「稼げるまち」の実現

### 陸・海・空のネットワークの構築

- ・北九州空港の滑走路3,000m化
- ・下関北九州道路の早期整備

### 北九州グリーンインパクトの推進

- ・風力発電関連産業の総合拠点形成



## 02 「彩りあるまち」の実現

### 都市の魅力を高める街並みづくり

- ・ウォーカブルなまちづくり
- ・旦過地区再整備事業

### 選ばれる住まい環境づくり

- ・折尾地区総合整備事業



## 03 「安らぐまち」の実現

### 災害に強いまちづくりの推進

- ・コンパクトシティの形成
- ・河川の治水・浸水対策

### 社会環境やニーズに即した都市基盤・施設の維持

- ・公共施設・社会インフラの長寿命化



## 技術職の主な活躍の場



### 道路

- 道路の新設・拡幅・維持管理
- 橋梁やトンネル等の長寿命化
- 道路空間の利活用



### 港湾・空港

- 北九州港の整備・維持管理
- 北九州空港の滑走路3000m化
- 風力発電関連産業の総合拠点形成



### 河川

- 豪雨災害に対応する治水事業
- 水辺の憩いの空間づくり
- 旦過地区再整備事業



### 都市計画

- 土地利用に関する計画策定
- 再開発・区画整理事業
- 未利用地の民間開発支援



### 公園

- 公園の整備・改修・維持管理
- こどもまんなか公園づくり
- 緑の保全、街路樹等の計画・管理



### 上下水道

- 水道・下水道の新設・維持管理
- 水道事業の広域連携
- 海外水ビジネスの展開



### 建築

- 公共建築物の整備・改修
- コクラ・クロサキ リビテーション
- 空き家の利活用



### 農林水産

- 農林水産施設の整備・維持管理
- 農林水産業の振興

## 連携協定締結の背景

「稼げるまち・彩りあるまち  
・安らぐまち」の実現



それを支える  
サステナブルな市役所組織



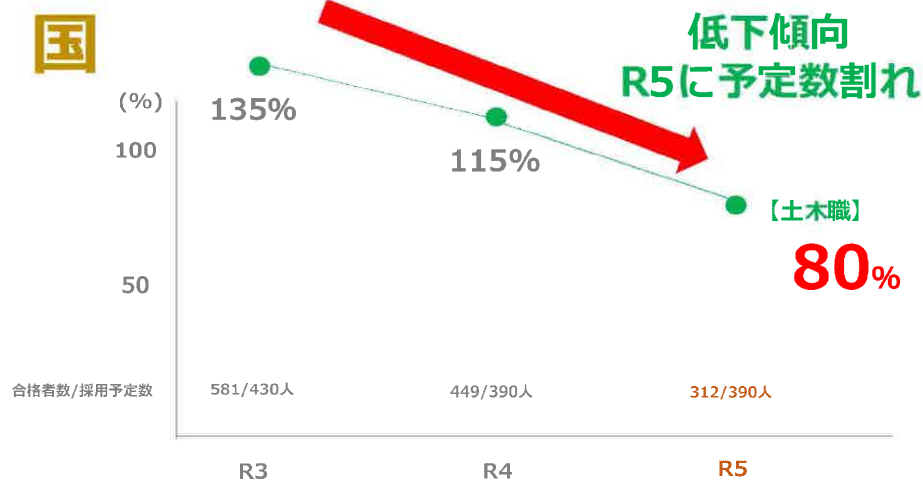
強化が  
必要な取組

- ▶ 土木職に代表される**技術系職員の人材確保**
- ▶ 技術職員の**専門スキルのアップデート・成長支援**
- ▶ 市役所業務のDX推進に伴う**職員のデジタルスキル向上**

Kitakyushu  
**Action!**  
動かせ、未来。北九州市

## 連携協定締結の背景

《参考》国家公務員・土木区分（大卒程度）の  
採用予定数に占める合格者数比率



Kitakyushu  
**Action!**  
動かせ、未来。北九州市

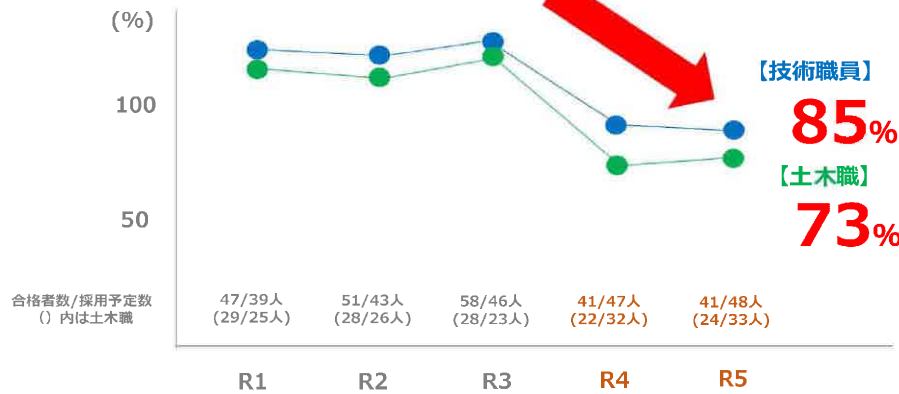
## 連携協定締結の背景

### 技術職員の採用予定数に占める合格者数比率

※土木・建築・電気・機械職の5年間の推移（上級+初級）

## 北九州市

直近2年の土木職の  
落ち込みが大きい



Kitakyushu  
**Action!**  
動かせ、未来。北九州市

## 株式会社 Kyutech ARISE

### 1 基本情報

- ・ 設立：2024年4月1日
- ・ 所在地：飯塚市川津680番地4
- ・ 代表取締役：嶺 正二郎
- ・ 九州工業大学が100%出資する社会人向けリカレント・リスキリング教育や就業支援を行う人材育成プラットフォーム会社



### 2 事業概要

#### 1 研修事業

九工大卒業生やエンジニア等の社会人向けリカレント・リスキリング教育及び研修を実施し、最新の技術や知識を習得可能。

#### 2 交流事業

九工大卒業生、在学生、各種講座の受講者や企業等とのコミュニティサイトを運営し、人材育成や共同研究、就業支援を促進。

#### 3 コンサルティング就業支援事業

就業希望者に対して企業側から求人情報等を提供し、効果的なマッチングを実現。

Kitakyushu  
**Action!**  
動かせ、未来。北九州市

## 主な連携事項①

### ◆ 北九州市役所の技術系人材の確保に関すること

#### 職員採用情報の提供・人材発掘

- ▶ Kyutech ARISE社が提供するプラットフォーム（九工大生、卒業生、講座受講生等が登録）のコミュニティに参加し、採用試験情報の提供など技術職員採用のプロモーションを強化

※ 上級・土木職員の約3分の1（163名/490名）が九州工業大学の出身者（大学院含む）

- ▶ Kyutech ARISE社の就業支援サービスを利用する求職者など、新たな技術系人材の発掘チャンネルとして連携



## 主な連携事項②

### ◆ 北九州市職員のリスキング及びスキルアップに関すること

#### Kyutech ARISE での研修実施①

##### ▶ 土木・建築・電気・機械等の技術者向けスキル向上研修の実施

- ・産学官が連携する研修プラットフォームを形成し、スキル向上や人材交流を図るとともに、北九州市が抱える課題の解決に向けた施策を提言
- ・九工大講師陣等の講義により、高度化する技術分野の知見をアップデート
- ・令和7年度実施予定



主な連携事項②

◆ 北九州市職員のリスキリング及びスキルアップに関すること

Kyutech ARISE での研修実施②

▶ DX推進のための市職員のデジタルスキルを強化

- ・DX人材育成プロジェクト『KitaQ DXアカデミー』の研修プログラムの一部を実施

【連携企画 第1弾】 『生成系AI入門』 (実施日: 12/18)

Kitakyushu  
**Action!**  
動かせ、未来。北九州市

ま と め

北九州市の目指す都市像を実現していくためには

それを支える技術職員の確保やスキル向上はますます重要になる。

Kyutech ARISE 社との連携協定により  
技術職員の採用・育成を強化し、  
サステナブルなまちづくりを進めます！！



Kitakyushu  
**Action!**  
動かせ、未来。北九州市

## 株式会社Kyutech ARISE ご紹介



2024/12/12

1



Kyutech ARISEは、  
国立大学法人九州工業大学出資  
未来創造の人財育成プラットフォーム会社  
です。

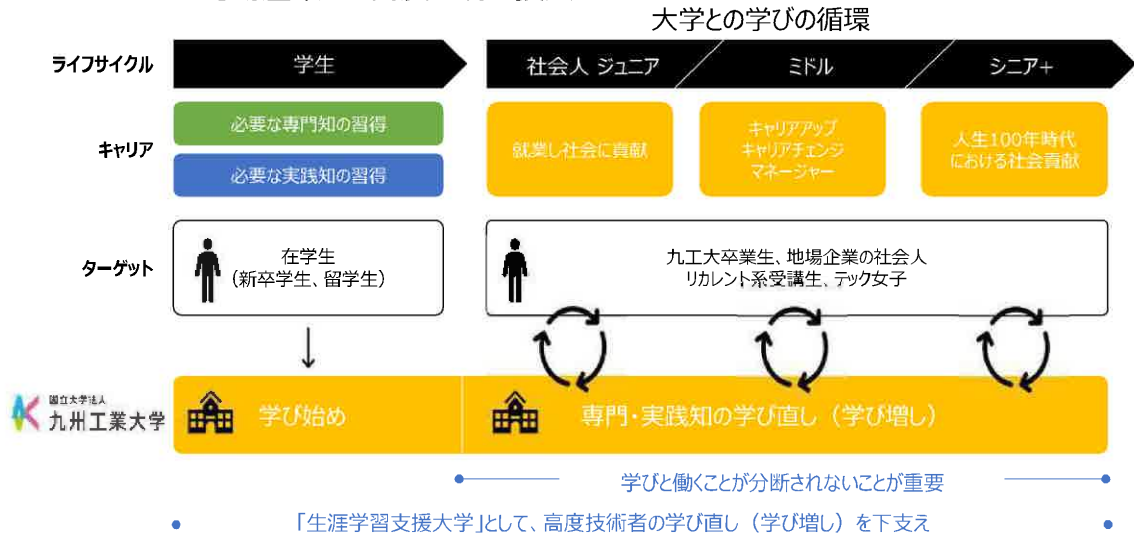


# 1. Kyutech ARISEの事業コンセプト

2

## エンジニアに寄り添う生涯学習支援

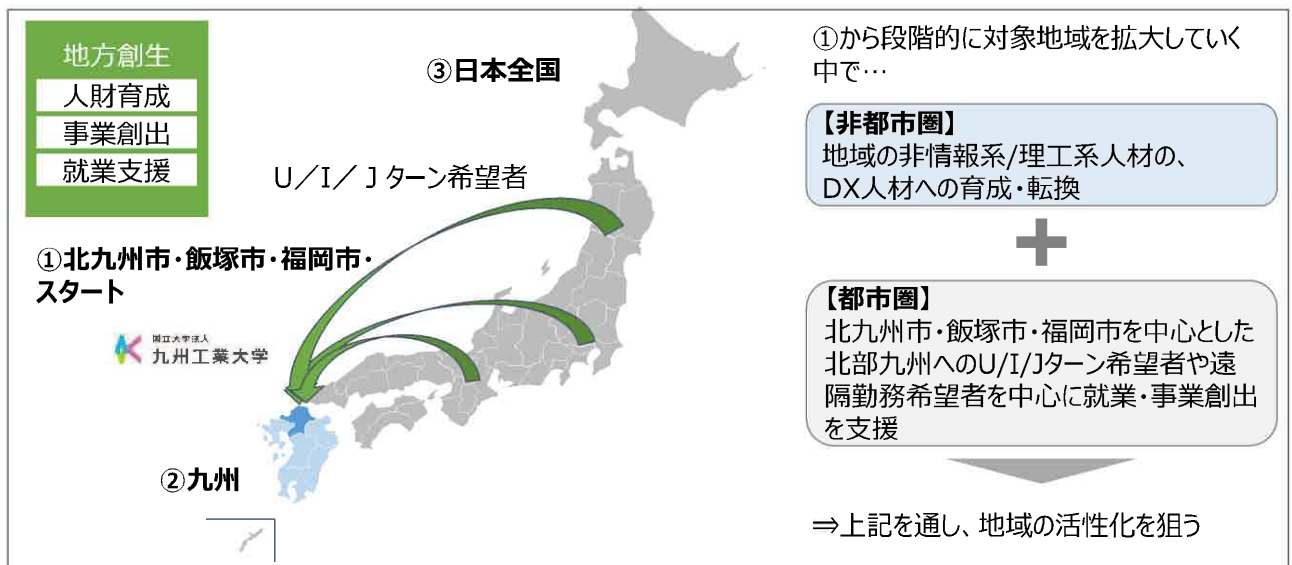
- 個々人の人生のキャリアパスに合わせたテイラーメイドでの学びと実践の循環
- 地場産業への高度人材の投入



# 2. Kyutech ARISEの事業モデル

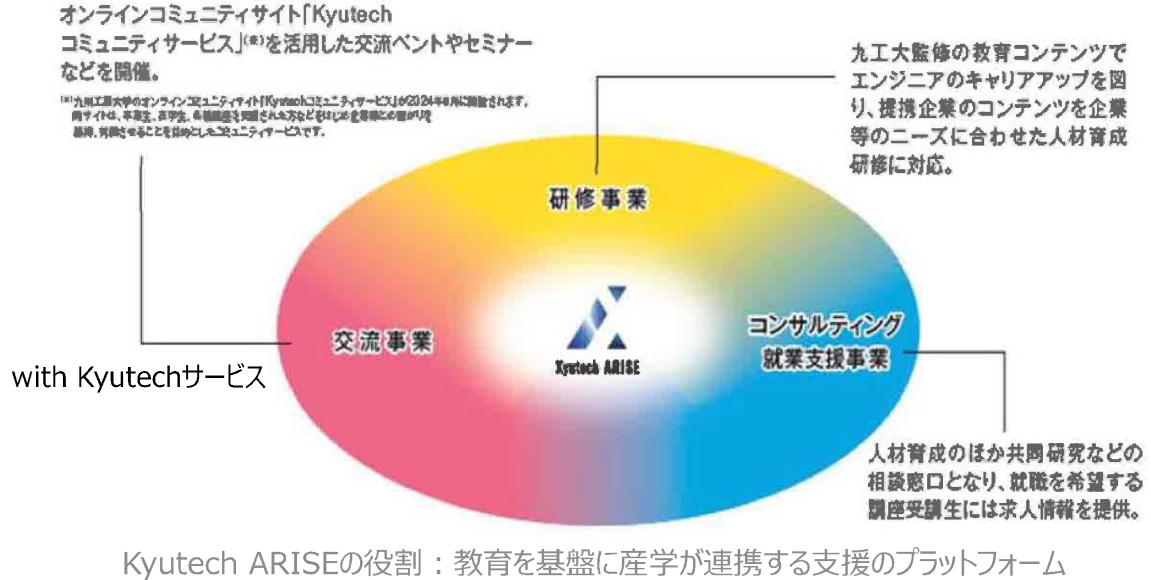
3

## 北九州・飯塚・福岡を中心とした北部九州での展開からはじめ、各地域への展開と地域活性化へ



## 2. Kyutech ARISEの事業モデル

4 九州工業大学のもつ教育の知見を基に、各種企業との連携を通して、人材の循環とインタラクションを促す育成プラットフォーム（基盤）の構築



## 3. 研修事業

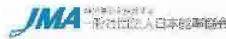
5



コース分類	得られるスキル	主なコンテンツ提供元
AI・データサイエンス コース	AI活用推進者としての必要スキル データを用いた事業効率化・新規事業開発の基礎能力	九工大
高度ソフトウェア開発者 コース	プログラミング基礎（C言語、Python言語） IoT、ウェブ開発などのプログラミング プログラム開発における作業効率改善と品質向上	九工大
DX経営人材 コース	マネジメントに必要となるビジネススキルとマインドセット及びIT素養 企業戦略や戦術策定に用いるERPの活用方法	九工大×企業
専門人材特化型 コース	各特定分野の専門知識、及び技能	九工大×企業

### 3. 研修事業

6



#### 高度ソフトウェアエンジニアコース

- ①教育支援士講座を踏まえた同講座内容の遠隔非同期化  
→飯塚市、北九州市と連携した行政DX支援講座開講
- ②ソフトウェアマネジメント強化に向けたPSP/TSP講座開設
- ②情報デザイン/UI・UX講座

#### DX経営人材コース：グローバル&ローカルな未来創造の経営人財育成に向けて

- ①DXアセスメントツール開発、エンジニアのための階層別研修開発
- ②多文化協働・D&I人材育成等に関する研修カリキュラム等の実施
- ③地域中堅中小企業支援強化に向けた「DX経営人材講座/人事、営業、新規事業開発等」の開発
- ④DX/ERPエンジニア育成に向けたERP応用・実践編開発

#### 専門人材特化型コースの新設

- ①安川電機向けメカトロニクス講座を社会人向けに開講
- ②宇宙ビジネス人材育成講座企画
- etc

### 3. 研修事業

7

#### 講座連携のビジネススキームについて

#### “DX経営人材育成講座”

弊社が中小企業向けにDX支援している実践的な内容を講義として設計し、以下のような項目でDX経営人材育成が可能です。

##### 01 DX概論及び業務効率化

【講義例】

1. Digital Transformationとは
2. 業務の可視化：業務フロー図の作成
3. 業務改善：ポトルネック業務の抽出と改善方法

##### 02 業務効率化\_人事

【講義例】

1. 採用市場の現状と自社の強み分析
2. デジタル活用による人材採用手法  
→採用サイト、SNS
3. 人事評価制度の作成及び運用

##### 03 業務効率化\_営業

【講義例】

1. 自社の営業力分析
2. 売上拡大の要因分析とKPI/成果指標設計
3. デジタル活用による営業手法

##### 04 新規事業開発

【講義例】

1. 既存事業の強み分析
2. デジタル活用による新規事業の作り方
3. 事業計画の策定手法



### 3. 研修事業

8

## 社会人サイバーセキュリティ人材の標準スキルとシラバス（イメージ）

**組織とビジネスを守るサイバーセキュリティ人材を育成**

それはどのような人材？ = ビジネスで利用する情報システムを自身で守れる人材 ... 基本的なサイバーセキュリティ防衛対策だけでは守れない！ ... **守れないさまざまな理由** ... それに対応できる人材を育て守るしかない！

**その人材が持つべきスキルとは？**

まもりたいもの：組織・ビジネス、そのための情報システム  
 情報技術だけでは守れない  
 サイバーセキュリティは総合科学  
 情報技術が必要なわけではない + 情報を守る情報技術以外の知見も必須  
 自身のビジネスを守るスキルを持つ  
 筑造者のレベルに応じて基本から先端まで総合的なサイバーセキュリティを体系的にスキルを習得  
 情報技術+それ以外（法令遵守+危機対応+人的要因+継続発展）  
 自ら学べる能力も必要  
 サイバーセキュリティはこれからも進化・進化していくことが必要

デジタルスキル標準（サイバーセキュリティ）をベースにITSSスキル標準L3程度までに必要なものを選択して構成

**教育コースが持つコンセプト？**

enPIT-Pro (ProSecIT/SECKUN) を代表とする既存コースの後継としての位置づけ

KPT法で次の教育コースを創る！  
 Keep! Problem! Try!

**Keep!**

- 社会人が簡単に受講できる動画（土日祝日、ハイブリッド、オンライン可能、アーカイブ受講可能）
- 社会人のニーズに合わせた内容（技術的なものは講座中心、業務に直結立つ実践的研修、体系的カリキュラム）
- 社会人のコミュニティ形成・後の繋がりに有用（コミュニティ形成支援）
- 社会人の学びにおける敬重と基本的な考え方を築き

**Problem!**

- ニーズが高いので受講回数も継続可能な取り組みが必要
- オンラインでの継続的な更新・改良ができる仕組みが必要
- レポート受講が可能な仕組みが必要
- レポート受講生以外の新しい受講生を継続的に開拓する仕組みが必要

**Try!**

- 柔軟に実施できる組織における取り組みで実施
- 常に新しい受講生などに対して内容をよくする仕組みを構築
- レポート受講生に対する適切な指導を講ずる
- 自治体・関係機関など新しい受講生を開拓

サイバーセキュリティ  
 Cyber + Security  
 インターネット、安全、安心、信頼システム  
 情報システムの安全・安心・開明

**社会人の学びにおける基本的な考え方**

サイバーセキュリティは総合科学で、そのすべての内容を網羅している講座は存在しない！

社会人受講生はさまざまな職業や社会経験を持っており、それらは価値があり、共有すべき資産である（つまりみんなが先生！）

受講生が持つ経験を持ち寄り、一緒に抱えるサイバーセキュリティに関する課題解決を考えることに意味がある（文殊の知恵）

「みんなで作る学びの場」=「コミュニティ」を一緒に育てていくというのが基本的な考え方となる！

（従来）やりたい人が勝手にどんどん進んでいて、参加したい人がそれに付いてくる（これから）受講生どうしが持つ価値ある経験を出し合い、一緒に課題解決を考える

社会人の学びはGive&Take!

サーブ・トライアングルのしくみはピア・ラーニング・ピア

画像：受講生が参加している研修会の様子

最良なライフタイムを共有する価値のある社会人の学びの場を提供

### 3. 研修事業

9

## シラバス・カリキュラム（例；案）

共通科目	社会人向けサイバーセキュリティカリキュラム			
	12.0	情報技術 (初級まで)	61.0	情報技術以外
ガイダンス・アイスブレイク	0.6	Intermediate Webセキュリティ入門 3.0	Beginner コンピュータサイエンス入門 2.0	コンプライアンス 35.5 デジタル新法 4.5
演習準備・会議ツール演習	1.0	Webセキュリティ演習 3.0	Python入門；エディタと統合環境を含む 4.5	クラウドセキュリティ 3.0 社会環境とセキュリティ 3.0
サイバーセキュリティイシュー概観	1.5	Webアプリケーションセキュリティプログラミング 2.0	データ構造とアルゴリズム 4.0	サイバーセキュリティイシュー概観 9.0 BCP体験型机上演習 7.0
情報セキュリティとリーガルマインド・情報倫理	2.5	クラウドセキュリティ 9.0	OS入門（Linuxコマンド操作を含む） 8.0	セキュリティとコンプライアンス概観 12.0 リスクマネジメント 9.0
著作権	1.5	標準化とセキュリティ・Dockerコンテナ入門 4.5	データベース入門 1.5	個人情報保護とサイバーセキュリティ 6.0 罰則法則 2.0
社会科学とセキュリティ	1.5	IT入門とゲーミフィケーション 3.0	インターネット入門 2.0	
高度成長報告書・シンポジウム	3.5	ARM4アセンブラ演習 3.0	生成AIとセキュリティ 2.0	
		CTF演習 6.0	検号技術基礎 1.0	
		IoTセキュリティ演習 4.5		

**シラバス・カリキュラム案**

- 企業で必須とする基本的知識を持つサイバーセキュリティ人材を育成する標準カリキュラムをベースに構成
- enPIT-Pro/SECKUNのカリキュラムをベースに基本的な内容を追加し、高度な情報技術については選修
- 選修する受講生のレベルに応じて、ITSS L2 → L4 くらいのイメージ（L2からL4までは各自研修でスキルアップが可能と考えられる）
- 国内外の最新のカリキュラム等を調査して構成
- 他のカリキュラムは基本的に情報技術等をベースにしたものが多い（理由は社会経験を持たない学生が対象のため）
- 社会人が受講生が対応すべきビジネスのための情報システムを所習するための「情報技術」だけでなく情報技術以外の講義・演習も取り入れる
- 以下のカリキュラムの良いところは参考

UEA-LEARNING  
 受講・出席・異動などの申し込み、参加のしやすさ、受講生ごとの研修情報提供の迅速さ（特にITSS研修）  
 受講生ごとの研修情報提供の迅速さ（特にITSS研修）

**総受講時間120時間以上**

- 総受講時間120時間は履修証明プログラムのひとつの条件
- 仕事をもちながら受講生が無理なく受講可能な一定の学習進度を得るのに必要な時間（例えば、週別に5時間程度受講すると24週（半年）で240時間となる）
- 過去にenPIT-Proを実施していった中で120時間の総受講時間の有効性は確認済
- 受講生のスキルアップに向けて科目を選択可能（例えば、共通科目12.0h+情報技術(61.0h)+コンプライアンス(35.5h)+リスクマネジメント(6h)+デジタル・プラットフォームの競争戦略とルール形成戦略(6.0h)で120.5時間）

**その他実施方法など**

- 英語科目は必ず英訳（倫理教育などを担当のため）
- 土日ハイブリッド（ハイブリッド会場；福岡、東京、大阪など）開講
- 専門性を併せて大学講師；企業講師；実務家講師に講義・演習を依頼
- 可能な場合はアーカイブ受講可能
- 受講生が希望のペースでオンラインセッションの目的にSNSやLMSを利用
- オンラインのみで修了可能で修了証を発行
- 事後評価をおく

SNSを利用した受講生や講師とのインタラクション

## 4. 交流事業 with Kyutech

10

オンライン&オンサイト

# with Kyutech

九州工業大学で学び/学んだ仲間（アソシエ）が、修了後もずっと学び、繋がる場。

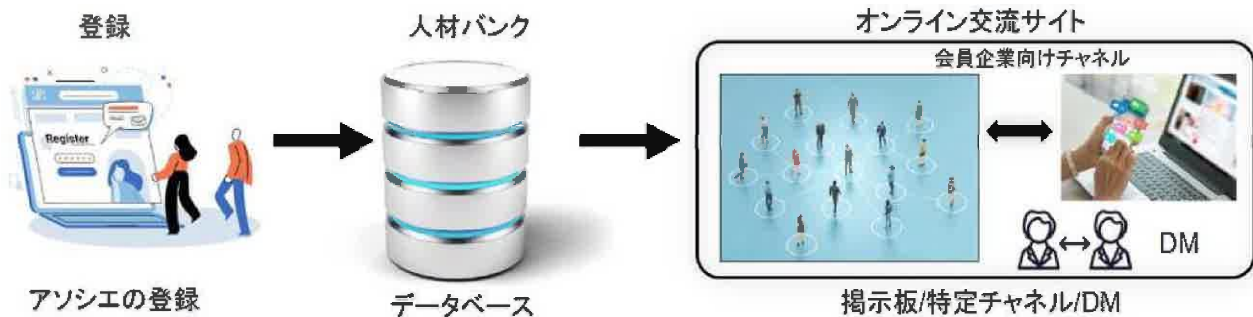


九州工業大学の先生から学び続ける、九工大アソシエ・会員企業同士が学び合い続ける。  
産学連携で共創する、生涯リスキリングと就業マッチングのプラットフォーム

## 4. 交流事業 with Kyutech 九工大側のデータベース

11

# 教育接続を支える人材バンク — Kyutech Community Service —



アソシエ：九州工業大学で学ぶ/学んだ学生・受講生

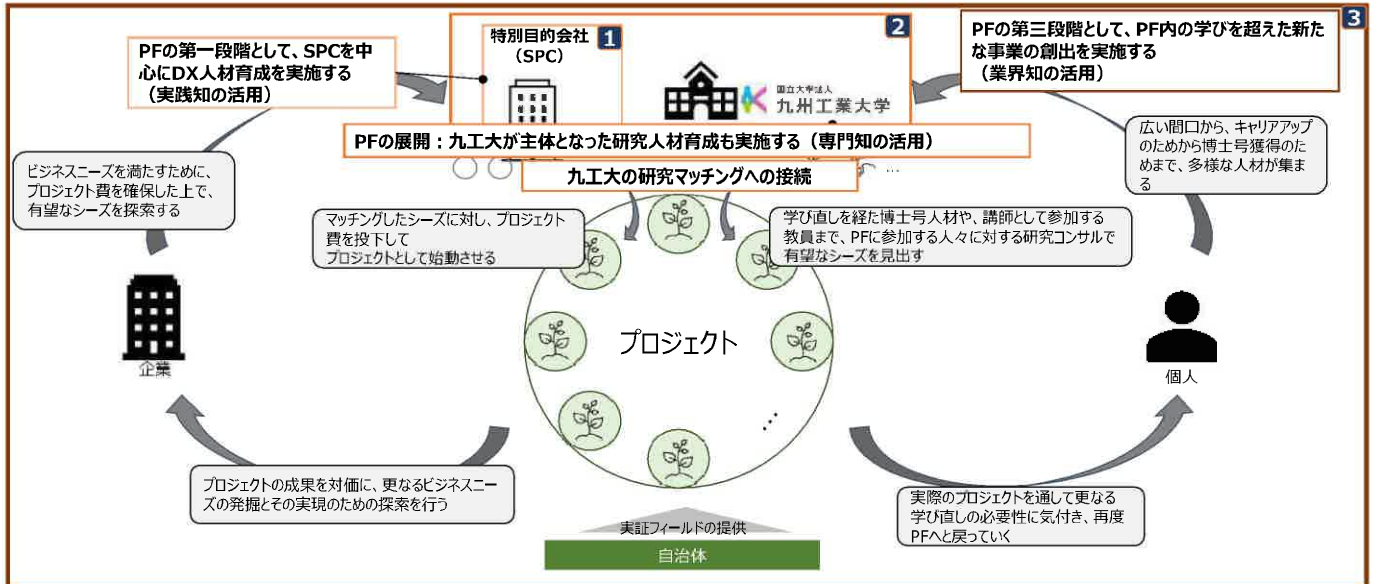
アソシエ間の交流  
アソシエと企業との交流  
企業間の交流

将来的な発展：研究シーズ・研究分野を、教育を通して、社会に還元

12

将来像：教育連携から始まるR & D

九工大をPFに、ヒト（シーズ）/カネ（ビジネスニーズ）の循環モデル構築



報道機関各位

令和6年12月4日  
北九州市総務市民局

老朽化した施設を多く抱える北九州市では、  
安全・安心な都市インフラを支える技術職員の確保やスキル向上が大きな課題。

## 北九州市は技術職員の採用を強化します！

### (株)Kyutech ARISE 社と技術人材の育成・確保で連携協定を締結



市民が安全・安心に過ごしていくため、都市インフラの維持・更新は自治体の大切な仕事の一つです。

国や全国の自治体で技術職員の人材確保が厳しい中で、北九州市では、この度、Kyutech ARISE 社と連携協定を締結し、同社が保有する情報やノウハウを活用して、都市インフラを支える市役所技術職員の人材育成・確保を進めていきます。

#### 記

#### 1 連携協定締結発表

- (1)日 時 令和6年12月12日(木) 14:00~14:30  
(2)場 所 北九州市役所 4 階 記者会見室  
(3)締結者 株式会社 Kyutech ARISE 代表取締役社長 嶺 正二郎  
北九州市 副市長 大庭 千賀子  
(4)内 容 ① 出席者紹介  
② 大庭副市長による説明  
③ 株式会社 Kyutech ARISE 嶺代表取締役社長によるご説明  
④ 協定書披露  
⑤ 質疑応答  
⑥ 写真撮影

#### 2 企業概要

社 名	株式会社 Kyutech ARISE
代 表 者	代表取締役社長 嶺 正二郎
本社所在地	福岡県飯塚市川津 680 番地 4 九州工業大学飯塚キャンパス内
設 立	2024年4月1日
資 本 金	30,000 千円(九州工業大学 100%出資)
従業員数	7 名(九州工業大学職員で構成)
事業内容	研修事業、交流事業、コンサルティング就業支援事業

【問い合わせ先】総務市民局人事課  
担当課長：柳井、担当係長：明石  
TEL：093-582-2203